

進路支援講座業務委託事業候補者選考に関する質問への回答

質問番号 (事務局整理順)	質問事項	資料名	該当ページ	質問内容	回答
1	対面授業、中学校第3学年の長期休業期間の日程	仕様書	3ページ	別紙1-2に当該の日程が組み込まれていませんが、これから決まる予定でしょうか。夏期、冬期合わせて各教科4コマの実施、夏期と冬期のそれぞれ各教科4コマずつの実施、どちらを想定されていますでしょうか。	長期休業期間の日程については事業者確定後に協議を行い、決定します。また、長期休業期間の講習については、夏期と冬期それぞれ各教科4コマずつの実施を想定しています。
2	対面授業における物品について	仕様書	4ページ	チョークなど消耗品や予備教材等、授業に関する物品の保管場所がありますでしょうか。また、三田中学校、青山中学校の設置は黒板、ホワイトボード、電子黒板のいずれでしょうか。	保管場所は用意します。三田中学校には黒板、青山中学校には黒板とホワイトボードを設置しています。
3	提出資料の正本、副本について	募集要項	5ページ	正本の表紙にのみ事業者を記し、正本の中身、副本の表紙、中身に事業者名と事業者名を特定する事項を記してはならないと解釈をいたしますが、認識は正しいでしょうか。	ご認識のとおりです。
4	企画提案書の作成に際して	様式7 企画提案書		枚数、ページ数に制限はありますでしょうか。また、同提案項目に関して枠の増長は可能でしょうか。	様式7のページ数のとおりとします。補足資料がある場合は、募集要項の5ページに記載のとおり全体で10枚以内とさせていただきます。提案項目に関する枠の増長は不可です。
5	支払いサイト、保証金について	仕様書	7ページ	月次での支払いとの認識ですが、委託料総額から契約月数を按分する形となるか、教材費の計上方法については初月の請求に組み込む形となるか、についてご教示ください。また、保証金の有無についてお示しください。	委託料総額のうち、総償約分は契約月数を按分するかたちになります。単償約分である教材費については、教材の配付を行った月に計上します。また、保証金はございません。
6	長期休業期間の特別講習について	仕様書	3ページ	長期休業期間の特別講習についても1コマ70分の想定でしょうか。また、長期休業期間中については時間割例や日程の指定がありませんが、こちらは貴区としてはどのようにお考えでしょうか。合わせて会場については長期休業期間中も三田中学校を利用できるという理解でよろしいでしょうか。	長期休業期間の特別講習についても通常講座と同様に1コマ70分の想定です。時間割例や日程については、事業者確定後に協議を行い、決定します。会場についてはご認識のとおりです。
7	選抜テストについて	仕様書6	3ページ	クラス編成を行う際に5月下旬に選抜テストを行うこととありますが、こちらの実施会場はどちらを想定されていますでしょうか。また、「受講者を決定すること」とありますが、事業者が受講者決定するという認識でしょうか。事業者側が決定する場合、もしくは貴区が決定する場合でも、受け入れ人数を超過した場合の受講者選定基準をお示しください。	選抜テストは、講座を行う三田中学校及び青山中学校で実施予定です。受講者の決定については、選抜テストの結果を踏まえて区が決定します。
8	講座に使用する物品・消耗品について	仕様書6	4ページ	「各教室で使用する物品、消耗品等を用意すること」とありますが物品や講座の出欠管理等で使用する生徒の名簿等を保管させていただく場所をご用意いただくことは可能でしょうか。	物品の保管場所は用意します。生徒の名簿等については、受注者で適切に管理することとします。
9	企画提案書提出について	募集要項	5ページ	(正本) データを格納したCD-R等 1枚とありますがデータ形式はPDFで問題ないでしょうか。	可能であればWordもしくはExcelでの提出をお願いします。
10	評価項目及び評価視点について	選考基準	2ページ	一次審査における「主な評価項目」ごとの点数の内訳(配点の割合等)を可能な範囲でご教示ください。	事業者決定までは非公表としています。
11	選考基準/二次審査について	選考基準	1ページ	参加表明書に記載された担当者のほか仕様書にある業務責任者も同席することと記載がありますが仕様書には業務責任者という表記はなく、会場責任者のみ記載がございます。また、様式2の「プロポーザル参加表明書兼参加資格審査申請書」には担当者の記載はございますが、様式5「事業従事予定者の経歴」には「統括責任者」と「業務担当者」に関する記載が求められております。これらの「担当者」「業務責任者」「統括責任者」「業務担当者」について業務責任者と統括責任者は同一のもの、担当者と業務担当者が同一のものそれぞれ理解して相違ないでしょうか。提案内容やプレゼンテーションへの参加にも関わるため、お伺いいたします。	ご認識のとおりです。プレゼンテーションには参加表明書に記載の担当者及び様式5の統括責任者が出席してください。なお、参加表明書の担当者は様式5の担当者に記載ください。
12	選抜テストによる受講者の決定	仕様書	3ページ	選抜テストの成績が上位の生徒から順に対面講座の受講資格を持つことになるのでしょうか。また、自らICT教材による学習を望んだ成績上位生以外は、比較的下位の生徒がICTによる学習を行うことになるのでしょうか。	受講者の決定については、選抜テストの結果を踏まえて区が決定します。ICT教材についてはご認識の通りです。
13	対面講座について	仕様書	4ページ	対面講座は集団講義、個別演習型のいずれも可能ということでしょうか。5行目に「教材については、受講者の進路に寄り添ったものとなるようにする」とありますので、特に中3生は、個々の生徒の学力と進学志望校に合った個別最適化した教材を用意することになると思います。	対面講座はいずれの方法も可能です。指導方法はご提案ください。中学校3年生についてはご認識のとおりです。
14	実施教科	仕様書	3ページ	1・2年生は社数理英の4科、3年生は国社数理英の5科を必ず全員が受講するのでしょうか。3年生は全員が都立高校の入試を想定するのであれば5科ということになりますが、中には私立3科入試を志望する生徒もいるかと思えます。そのあたりはどのように考えたらよろしいでしょうか。	都立高等学校入試を想定して5教科としております。
15	ICT教材について	仕様書	5ページ	「受注者が制作した独自のもの」とありますが、受注者が採用し、自社の指導サービスに利用して成果の出ている他社が開発したICT教材を、今回の進路支援講座に最適な形にアレンジして活用することは構いませんでしょうか。	受注者が制作したものであれば構いません。